



Urawagakuin
High School
Official
Homepage
Topics



2017.11.21 * vol. 65

Topics 各種学会報告
~仙台・広島・徳島~

編集：広報・企画局



日本学校保健学会の第 64 回学術大会が 2017 年（平成 29 年）11 月 4 日、5 日と仙台市の仙台国際センターで開催されました。本校から小袋伸枝教頭、五十嵐恵子（養護教諭）、山本紘子（養護教諭）、竹田美保（栄養指導係主幹）、上村春彦（健康指導課長）が参加し学術発表をしてきました。また、前校長の小沢友紀雄先生も共同研究者として参加して頂きました。

今回の大会テーマは「つたえる ひろげる 学校保健 -伝統から新たな学校保健を目指して-」です。この趣旨は、東北地方からの発信によって、学校保健の殻を破り、新たな局面を切り開いて、未来志向の学校保健の可能性を目指し、広く連携をして、子供たちの健康・幸福を守るために知恵を絞り、実践的な取り組みを目指すことです。

本校の演題としては、小袋『「体重の旅・人生ゲーム」による食育指導』、山本「運動器検診の方法と結果についての実践報告」、竹田「当校生徒のタブレットを使用した食事の実態把握と食育授業の有用性」、上村「浦和学院高等学校における BLS 教育に関する調査」という題目でポスター討論をおこないました。

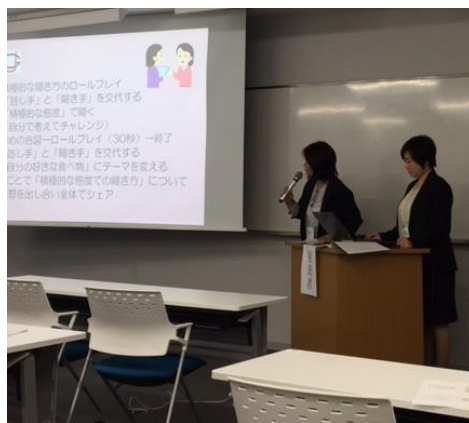
五十嵐においては「学校における生徒の頸椎損傷が疑われる心肺停止状態を想定した問題解決型実践的救急救命シミュレーション研修」という題目で、唯一、口頭発表をおこない全国の養護教諭から注目を浴びました。

この仙台における大会では、本校の今年度の取り組みを発信し、大学の先生方や高校・中学・小学校と幅広い先生方からのご意見やご助言をいただくことができた、大変有意義な大会となりました。（文責：小袋）

平成29年9月13日(水)～9月15日(金)までの3日間、「第64回日本栄養改善学会学術総会」が徳島県徳島市のアスティ徳島で開催されました。本校からは教員の小袋伸枝(教頭)、竹田美保(栄養指導係主幹)の2名が参加いたしました。本校は約2800名の生徒と約200名の教職員が「生徒一人一人の安全第一」を心掛け、命の尊さを意識し「Health & Safe school」を宣言しております。そのためには健康な体づくりが必要であり、食育が重要となってきます。本校では平成23年度から各種委員会活動に栄養指導委員会を設置し平成23年6月には女子栄養大学と高大連携を締結しております。栄養指導委員の生徒は女子栄養大学へ年2回訪問し特別講義を聴講し食育授業を推進しています。また年1回希望者を募りテーブルマナー講習会も開催しています。

平成26年度には女子栄養大学の藤倉純子教授率いる研究チームの『「体重の旅・人生ゲーム」によるICTを活用した遠隔交流型食育授業』が文部科学省の科学研究に選ばれました。この研究は3か年計画で本校と静岡県三島市にある日本大学附属三島高校の2校で同一の食育授業を行い、2校をSkypeでつないで遠隔交流授業をするものです。本校では保健医療クラスが対象となりました。今年度は昨年度の第1報に続き、第2報が発表されるため実施校として参加してきました。

(文責：小袋)



平成29年10月7日(土)～10月8日(日)の2日間にわたり、「第16回日本ピア・サポート学会研究大会」が広島大学東千田未来創生センターに於いて開催されました。本校からは教員の小袋伸枝(教頭)、竹田美保(栄養指導係主幹)、臨床心理士の松田東子(ピア・コーディネート係主幹)の3名が参加いたしました。

ピア・サポートとは、「仲間同士で協力しあう」という意味があり、教育現場ではクラス運営やアクティブラーニングへの導入として様々なワークを通じた活動が取り入れられています。本校でも教職員研修や保健医療クラス生徒への授業の際に「傾聴」や「コミュニケーション」についてのワークを行ってきました。

昨年度、一昨年度も発表をして参りましたが、今回も「新任教諭を対象にしたピア・サポートトレーニングによる不安の変化(第一報)」(小袋伸枝・松田東子・竹田美保)というテーマで発表したところ、たくさんの質問やご意見をいただき、大変有意義な時間となりました。

(文責：小袋)

